

NEW 掲げてきた政策が実現 さらに前へ

これまで取り組んできました『協働』や『子育て』、『防災』、『海の安全』などの政策が実現、さらに前へ進む事業が予算化されました。2022年度の主な事業を掲載いたします。

新型コロナウイルス感染症対策

- ワクチン接種を希望する市民が迅速かつ適切に接種を実施できるようにする
- 鎌倉応援キャッシュレス割引キャンペーン実施
- 保育所や幼稚園、障がい者施設の職員を支援するため、PCR検査キット購入

子ども・子育て

- 小児医療費助成制度の所得制限を撤廃(中学生以下の保険適用分医療費を無料に)
- 2022年度中に全ての市立小中学校の特別教室に冷暖房設備を設置
- 子育てに係わるワンストップ窓口の開設

まちづくり

- 深沢地域整備事業の事業計画認可に向けた手続き等を進める
- 新たな協働の仕組みである「つながる鎌倉エール事業」を開始
- インクルーシブ公園を整備し、誰もが安心して遊べる環境づくりに取り組む

安全・安心

- 消防団の装備充実及び消防団員の処遇改善、地域の防災力の向上
- 既成宅地等における防災工事費の一部助成や、通学路にある危険ブロック塀の撤去に引き続き取り組む

福祉

- 横断的な地域コミュニティづくりを目指し「地域共生プラットフォーム」の構築に向けた検討
- ヤングケアラーやダブルケアなどのケアラーを支援する条例制定に向けた検討

観光

- 観光スポットの混雑状況を可視化するマップシステムの運用を開始
- 海水浴場の安全確保に向けて、AIカメラ活用による離岸流の可視化や、監視業務へのドローン活用

グリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分
腰越駅集合(雨天中止)



☆スケジュール☆

第109回:4月16日
第110回:5月21日

:

ひなた新聞 48号

鎌倉市議会議員

ひなた慎吾



活動レポート



1983年6月9日 生まれ (38歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校

→腰越中学校→鎌倉高校→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年2期目の当選。2021年3期目の当選。腰越在住。

〈現在〉市民環境常任委員会委員

●2022年度『ミライツクル予算』可決

2022年度の予算はコロナ収束後を見据え、まちの未来を切り開く過去最大規模の予算が掲げられました。我々会派『夢みらい鎌倉』は、コロナ禍においても、市民の安心安全を守り、新しく掲げた事業や未来を見据えた事業を同時に推進していかなければならないという考えのもと審査を行い、新年度予算等議案を賛成しました。

コロナ禍において、考え方が様々であることを改めて知りました。例えば、「マスクをする・しない」「ワクチンを接種する・しない」。それぞれが選択する中で一番大切なのは『思い合う気持ち』だと思います。違いを認め合い、違うからこそ人から学ぶことが沢山あると感じています。

私はこれからも色々な人と関わりながらコロナ禍を共に乗り越え、市民の生活を豊かにし、未来を創っていくことに全力で取り組んでまいります。



●一般会計予算等審査特別委員会

新年度予算審査の過程において各委員から多岐にわたる意見が述べられましたが、**全委員が一致して委員長報告に盛り込まれた意見と会派として残した意見について**、抜粋して記載します。



委員長報告

◆大河ドラマをまちづくりに生かす

大河ドラマ事業を一過性の施策とせず、看板の整備や混雑改善、観光の分散化、市民や子供たちへの教育や啓発の充実、鎌倉の新たな魅力を感じられるイベントの実施などに取り組み、今後の鎌倉のまちづくりに生かせるものとするを求めます。

◆防犯力の強化

地域活性化に取り組む一方で、人流増加に対して、警察や自治会・町内会との綿密な連携の下、LED 防犯灯などの設置等の施策の推進を求めます。

◆生涯学習センターの管理運営

本年10月1日から予定されている生涯学習センターの利用時間区分の変更については、利用者ニーズを慎重かつ的確に把握し、さらなる対応を行って行くことを求めます。

会派意見

◆『広報・広聴』の大切さ

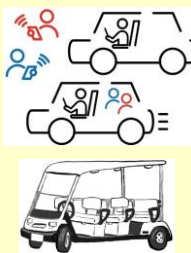
事業を進める上で重要なのは、できるだけ多くの市民が、同じ目線で手を繋ぎ、夢を持って鎌倉の未来を一緒に見据えて進むことです。これまでも行われていることは承知しているところですが、あらゆる手法を駆使して、これまで以上に丁寧に行うことを強く求めました。

大切なのは「伝えるから伝わる」ことだと考えています



◆交通不便地域対策への対策

昨年、二階堂・浄明寺地区でオンデマンドモビリティ実証実験が行われました。高齢者だけでなく、福祉の観点や住宅への暗がりの一人歩きなど、多世代が利用できる観点で進めただけでなく、鎌倉市内全体の交通不便地域への取り組みとして、しっかりと進め方を示して、具体的な成果を出すことを期待し要望しました。



会派意見

◆コミュニティ・スクール整備事業への期待

『鎌倉版コミュニティ・スクール』は、小中連携の基盤としてそれぞれの中学校区に設置し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すとともに、学校や子供の抱える課題等について地域・学校・家庭がチームとして一丸となって解決に当たる体制作りを行って行くものです。協働活動を進めていく推進員の選任は重要であり、地域のことをよく知り、事業の取組状況を発信できる人が担うことを求めました。



◆育成事業として青少年の居場所づくり

2022年度の取組として、子どもの居場所について既存の場所以外に新設置に向けた検討がされました。青少年が求めているニーズを把握し、既存の公共施設等の活用（青少年会館だけでなく、生涯学習センター等の一室やロビー等）や利便性を考慮し、青少年が安心して過ごすことができ、社会との関わりを持つことができる居場所づくりを求めました。



◆日頃の防災診断を強化し、減災につながる活動を

火災による被害が全国的に見られますが、特に漏電による火災が気になります。長い年数が経った家屋等に起こり、木造の建築物が密集している地域では被害が大きくなってしまいます。火災予防のためにも日頃の防災診断を強化に努めることを求めました。



◆災害ボランティアセンター設置に関するマニュアルの完成へ

大規模災害が発生した際、駆けつけて下さったボランティアの方々の受け入れ場所として災害ボランティアセンターが必要ですが、現在、鎌倉市・青年会議所・社会福祉協議会の三者で協定が組み立てられている中、運営マニュアルはまだ案の段階です。災害時に迅速かつ円滑に受け入れる体制を整えるためにも早期の完成を求めました。



住所：鎌倉市腰越 3-23-7 連絡先：0467-32-5889

ホームページ：<http://www.hinata-kamakura.com/>

メール：hinata.shingo@gmail.com フェイスブック：日向慎吾

ツイッター：@HinataShingo インスタグラム：hinata.shingo



討議資料